

青果物分野における パレット化率について

令和6年3月8日

農林水産省

大臣官房 新事業・食品産業部 食品流通課

○青果物流通標準化ガイドラインと今後の課題

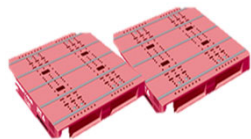
- 令和5年3月の第4回青果物流通標準化検討会において、「青果物流通標準化ガイドライン」を策定。
- その際、今後の検討課題の一つとして、**パレット循環体制構築に向けた現状把握と目標設定**を提示。

【青果物流通標準化ガイドラインの概要】

○ パレット循環体制

1. サイズ・材質

- ・原則1.1m×1.1m **(11型)**
- ・**プラスチック製**を推奨



2. 運用

- ・利用から回収まで**レンタル**が基本
- ・パレット管理が不可欠。青果物流通業者の**意識醸成**が必要
- ・パレットの**情報共有システム**の構築・導入を推進

○ 外装サイズ

1. 最大平面寸法

- ・最大平面寸法は1.1m×1.1m
- ・パレットからは**み出さない**ように積み付け

2. 最大総重量

- ・プラスチックパレットの耐荷重を踏まえて**1t**

(積み付けの様子)



3. 荷崩れ防止・品質劣化防止

- ・湿気による品質劣化を防止するよう、簡潔なラッピング

4. 外装サイズの寸法

- ・品目ごとに標準となる**段ボールサイズ**を順次設定。導入産地を順次拡大。

(荷崩れ防止策)



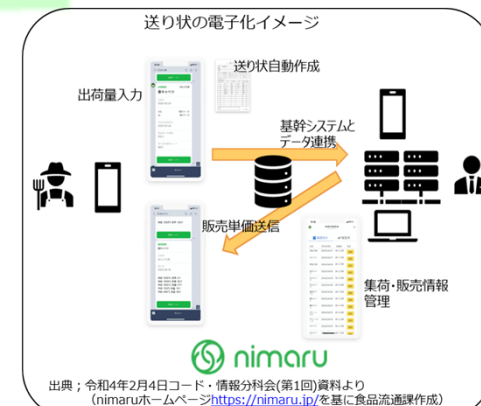
○ コード・情報

1. 納品伝票の電子化

- ・**送り状、売買仕切書**を優先
- ・送り状・売買仕切書の標準的な記載項目を提示

2. コード体系の標準化

- ・商品では青果物**標準品名コード**(JA全農のベジフルコード)を活用
- ・事業者では県連、JA、市場の**事業者コード**を活用



○ 場内物流

1. トラック予約システム

- ・到着時間等を予約。荷下ろし待ち時間を削減。

2. 場内物流改善体制の構築

- ・開設者を中心に、卸売業者、仲卸業者等による場内物流改善体制を構築
- ・市場内の**パレット管理、荷下ろし等の秩序形成、法令遵守**を促進



【R5.3.28 第4回青果物流通標準化検討会 今後の検討課題（抜粋）】

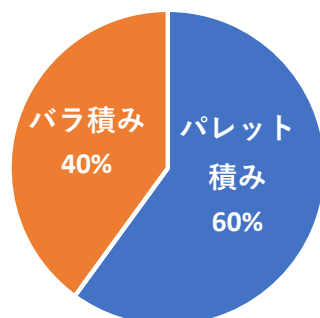
検討すべき事項	対応状況・今後の取組
パレット循環体制構築に向けた現状把握と目標設定 ○ 青果物流通におけるパレット化率のKPI設定や測定方法に関する検討	・ まずは現状のパレット化率把握のため、農林水産省において卸売業者を対象としたアンケート調査を実施したうえで、KPIを設定する。アンケート調査はその後定期的にも実施し、フォローアップを実施。

○パレット化率について

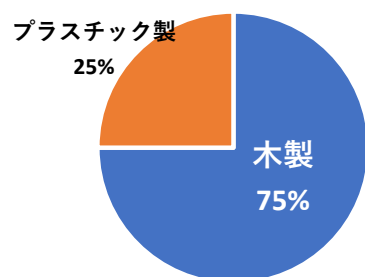
- 青果物の輸送について、R4年にトラック事業者、R5年に青果卸売業者に対するアンケート調査を実施。その結果、**2022年度のパレット化率は6～7割程度。標準パレット化率は1割未満と推定。**
- **パレット化率**については、**2030年度までに80%以上**とすることとし、あわせて、**パレット化率を着実に向上させていくための方策（例：関係者間のコスト負担のあり方、卸売市場内でのパレット管理ルール等）**についても検討していくべきではないか。

○ トラック事業者へのアンケート結果

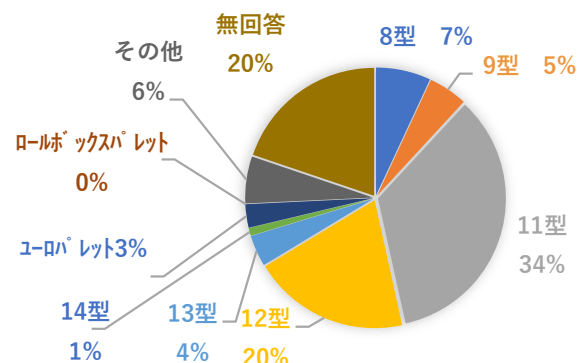
パレット積みとバラ積みの割合（2022年度・平均）



使用しているパレットの材質



最も使用するパレットサイズ



出典：農林水産省 物流事業者に対する青果物流通に対するアンケート（R4年10月）

○ 青果卸売業者へのアンケート結果

	全国平均（2022年度）		
	春期 （4～6月）	夏期 （7～9月）	秋冬期 （10～3月）
パレット使用率	68.3%	73.9%	71.8%
プラスチック製 レンタルパレット使用率	4.6%	7.2%	8.4%

出典：農林水産省 パレット化率把握のための卸売業者向けアンケートの結果（R5年9月）

（参考）2000年度時点のパレット化率

業界名	1日あたりの輸送物量	パレット輸送している物量	1日あたりの輸送物量に対する構成比	パレット化可能な輸送物量に対する構成比
青果業	9,189	1,016	11.1	14.7
全業種合計	906,143	216,176	23.9	76.3

出典：（公社）日本ロジスティクスシステム協会「物流機材の一貫利用による物流効率化のための調査研究報告書」（H13年3月）より抜粋

○パレット化率のフォローアップ

- 以下の方法により、年 1 回フォローアップを実施することとしてはどうか。
 - ・ パレット化率・・・トラック事業者または青果卸売業者に対するアンケート調査により把握。
 - ・ 標準パレット化率・・・大手パレットレンタル業者のパレット貸出枚数、青果物の国内出荷量の統計データなどをもとに推計。

○ パレット化率のアンケート調査イメージ

R5年 パレット化率把握のための卸売業者向けアンケート 調査票

I. 基本情報

1 事業者名等	
(1) 所在卸売市場名	
(2) 事業者名	
(3) 担当者	
① 氏名	
② 役職	
③ 連絡先	
電 話 番 号	メー ル ア ド レ ス

II. アンケート項目

0 品目別に回答する場合には、該当する品目に○をつけ、それぞれフォームを分けて送信いただくをお願いします。
複数品目まとめて回答する場合は、該当する品目すべてに○をつけてください。

① 根菜類 ② 葉菜類 ③ 果菜類 ④ 果実

1 2022年度に貴社で荷受けした荷物のパレット化率等について、時期別に御回答をお願いいたします。
(1) パレット積みとバラ積みの割合 ※全体の数量を100%とした場合の比率を記載してください。
※バラ積み輸送が100%の場合、(2)は回答する必要はありません。
※①～④について、産地が運送事業者かわからない場合は、産地に含めてご回答ください。

	春期(4～6月)	夏期(7～9月)	秋冬期(10～3月)
① 産地がレンタルしたプラスチックパレットに積まれた荷物			
② 産地がレンタルした木製パレットに積まれた荷物			
③ 産地が所有するプラスチックパレットに積まれた荷物			
④ 産地が所有する木製パレットに積まれた荷物			
⑤ 運送事業者がレンタルしたプラスチックパレットに積まれた荷物			
⑥ 運送事業者がレンタルした木製パレットに積まれた荷物			
⑦ 運送事業者が所有するプラスチックパレットに積まれた荷物			
⑧ 運送事業者が所有する木製パレットに積まれた荷物			
⑨ 市場がレンタルしたプラスチックパレットに積まれた荷物			
⑩ 市場がレンタルした木製パレットに積まれた荷物			
⑪ 市場が所有するプラスチックパレットに積まれた荷物			
⑫ 市場が所有する木製パレットに積まれた荷物			
⑬ 所有者不明のパレット(雑パレット)に積まれた荷物			
⑭ バラ積みの荷物			
⑮ その他(シートパレット等) (具体例:)			
計	100%	100%	100%

(2) レンタルパレット又は所有パレットのサイズ ※ (1)の①～⑫のパレットについて、まとめて回答してください。

	春期(4～6月)	夏期(7～9月)	秋冬期(10～3月)
① 11型(1100×1100mm)			
② 12型(1200×1000mm)			
③ 9型・Pパレ(1100×900mm)			
④ その他(8型、13型、14型、ユーロパレット等)又は不明			
計	100%	100%	100%

III. 自由記載欄

本件に関連して、ご意見・ご要望があれば自由に記載ください。

○ 標準パレット化率の推計イメージ

	標準パレット 使用枚数	パレット1枚 当たり積載量	標準パレット での出荷量	青果物の 国内出荷総量	標準パレット 化率
	A	B	C (=A×B)	D	E (=C/D)
〇〇 年度	〇千枚	〇 t	〇千 t	〇千 t	〇%
〇〇 年度	〇千枚		〇千 t	〇千 t	〇%
・ ・ ・	・ ・ ・		・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・
〇〇 年度	〇千枚		〇千 t	〇千 t	〇%